

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Isa単剤
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	再発又は難治性の多発性骨髄腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	MM-033
登録日・更新日	2021年12月28日
削除日	
出典	Cancer Sci. 2020 Dec;111(12):4526-4539.
入力者	湯山 聡

投与順に記入(抗がん剤のみ)

1サイクル						
	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	イサツキシマブ (サークリサ点滴静注)	100mg, 500mg	20mg/kg	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	※	day1、8、15、22
	生理食塩液	※				

2サイクル以降						
	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	イサツキシマブ (サークリサ点滴静注)	100mg, 500mg	20mg/kg	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	※	day1、15
	生理食塩液	※				

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日)・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【休薬・中止基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Grade2のInfusion reaction: Grade1以下まで回復するまで休薬し、回復後は院内標準化に準拠し投与再開可能。 ・Grade3以上のInfusion reaction: 中止 ・Grade3以上の好中球減少: ANC 1000/μL以上に回復するまで休薬する。
前投薬	抗ヒスタミン剤+H2受容体拮抗剤+解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン)+メチルプレドニゾン100mg/body
その他の注意事項	<p>※ イサツキシマブの投与方法は院内標準化に準拠する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも1つの標準的な治療が無効又は治療後に再発した患者を対象とする。 ・イサツキシマブを投与する際は、ポリエーテルスルホン、ポリスルホン又はナイロン製のインラインフィルター(孔径:0.2又は0.22μm)を用いて投与する。また、ポリウレタン、ポリブタジエン、ポリ塩化ビニル(DEHPの有無は問わない)又はポリエチレン製の投与セットを用いる。 ・感染症の予防として、抗ウイルス薬(アシクロビル等)、抗菌薬(ST合剤等)を投与してもよい。

記入者	湯山 聡
確認者	竹内 正美